

THAにおける継続看護への取り組み

外来診療部

○ 池ノ内 千乃 竹内 初衣

5階東病棟

水間 美智子

I. はじめに

近年、術式や人工関節の進化によりTHA術後の患者のQOLは向上している。しかし、術後の管理として脱臼や感染の問題は完全に解決されておらず、依然として患者指導の要点である。一方、包括医療の煽りを受けて在院日数は短縮傾向にあり、当院整形外科の平均在院日数は24～25日、入院後手術までの期間は平均2日である。これらを背景に看護面では手術を受ける患者の指導に十分な時間がかけられないでいる。現在、手術待ちで自宅待機する患者は常時120名ほどおり、看護も外来からアプローチを開始し、病棟、リハビリと連携すれば一貫した看護展開が可能となる。また、看護力を効果的に活用できる。

そこで、当院整形外科でTHA対象患者の看護の充実を目的に外来・病棟・リハビリテーション部所属の看護師で、入院前の準備から退院指導までの継続看護を企画・実施したので報告する。

II. 実施方法

企画準備期間：平成16年1月～平成16年3月

実施期間：平成16年4月～現在続行中

対象：THAを受ける患者

III. 企画・実施内容

患者教育の部署別担当箇所と内容

1. 整形外科外来看護師…手術前看護

- 1) 入院準備説明
- 2) 手術前に必要な情報の提供
- 3) 手術後の家庭生活への適応に向けた検討内容の紹介
- 4) その他入院に対する質問や不安への対応

2. 病棟看護師…手術直前・手術直後看護

- 1) 手術前オリエンテーション
- 2) 術後全身ケア
- 3) 深部静脈血栓の(DVT)予防
- 4) 腓骨神経麻痺の予防
- 5) 術式にあわせた段階的離床
- 6) 術後のベッド上訓練指導と介助

3. リハビリテーション看護師…手術前指導と退院指導

- 1) 手術前指導
- 2) 退院指導

実施にあたっては、外来・病棟・リハビリが協同して作成した「にっこりあるき」(人工股関節手術を受けられる方用)パンフレットを用いて指導。また、入院案内と手術前オリエンテーションでは、院内仕様のものを使用した。

〔平成19年10月11・12日 第34回日本股関節学会(石川)にて発表〕